

城南新報 09. 3/20

水質、ポンプ交換で見解求む

宇治市開浄水場の休止問題 地元が公開質問状

宇治市の開浄水場休止問題で地元の開地区自治連合会(海老温信会長)などは19日、桑田静児水道事業管理者に公開質問状を手渡した。開浄水場の揚水ポンプが一時停止(先月6日早朝)したことを踏まえ、先月27日には早期のポンプ交換、休止問題での協議再開を要

求したが、回答がないため、公開質問状として提出した。それによると、市議会で水道部が原水の環境基準値超過を強調したことを踏まえ「環境基準を超える原水を水源としないという方針はあるのか」と指摘しているほか「方針があるなら、環境基準値を

超えていない槇島浄水場はなぜ休止したのか」と質問。ポンプ交換では「メンテナンスの範囲外と主張しているが、神明浄水場のポンプ交換では『修繕』として扱われたのではないか」など疑問をぶつけている。地元は今月末までの回答を求め、桑田管理者は「弁護士と相談し

て回答はしたい」と回答期限を守るか、どうかは明言しなかったとした。

なお、今月4日の休止差し止めを求める訴訟の第5回口頭弁論では話し合い再開について「裁判に影響を与えない範囲で、双方の弁護士で調整するように」と裁判長が「斡旋」。地元はその対応も求めたが、桑田管理者は「弁護士と相談中」としたという。